

平成30年度
西郷村まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業評価報告書

〔 評価対象：平成28年度 地方創生拠点整備交付金事業
平成29年度 地方創生推進交付金事業 〕

令和元年7月
西郷村地方創生有識者会議

はじめに

1. 地方創生有識者会議について

本村は、平成 28 年 3 月に「西郷村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

この総合戦略の策定において、行政のみならず、住民、NPO、関係団体や民間事業者等の参加・協力が重要であることから、住民をはじめ、産業界・県や国などの関係行政機関・大学などの教育機関・金融機関・労働団体・新聞社などのメディア（産官学金労言）などで構成する組織でその方向性や具体案について審議・検討し、広く関係者の意見が反映されるよう「西郷村地方創生有識者会議」が設置されました。

また、計画策定後もその効果検証に際して、その妥当性・客観性を担保するため、行政の中だけで行うのではなく、外部有識者の参画を得ることが重要とされていることから、本会議において審議・検討するものとししました。

2. 西郷村地方創生有識者会議構成

分野	所属	役職	氏名	備考
産 業	西郷村商工会	会 長	仁平 喜代治	
	白河オリンパス(株)	総 務 部 長	鶴田 良二	
	信越半導体(株)	主 幹	桑名 義雄	
	東陽電気工事(株)	代表取締役社長	石川 格子	
	社会福祉法人 西郷村社会福祉協議会 みずほ保育園	園 長	森 明 美	
	五峰荘	女 将	有賀 圭子	
官 界	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立那須甲子青少年自然の家	次 長	蓮見 直子	
大 学	福島大学	名 誉 教 授	清水 修二	座 長
金 融 機 関	東邦銀行 新白河支店	支 店 長	星 邦 弘	
	白河信用金庫 西郷支店	総 括 店 長	鏑 貴 志	
労 働 団 体	日本労働組合総連合会 福島県連合会 白河地区連合会	議 長 代 理	畠山 史信	
言 論 機 関	福島民友新聞社 白河支社	支 社 長	渡 辺 司	
	福島民報社 白河支社	支 社 長	古川 雄二	
住 民 代 表	西郷村行政区長会	会 長	花安 紀夫	
	西郷アグリネットワーク	会 長	近藤 武男	
	西郷村婦人会	会 長	遠藤 玉美	
	西郷村社会教育委員	副 委 員 長	橋場 八代子	
	西郷村くらしの会	会 長	大越 則恵	

総 評

やや持ち直していた出生率がまた低下するなど、日本の少子化の趨勢は依然としてとどまる気配がない。また首都圏への人口集中を抑制する政策は期待された効果を挙げることができず、都市と農村の格差を是正する目的で始められた「ふるさと納税」制度も本来の趣旨から逸脱して見直しを余儀なくされている。財政は厳しい状況が続いており、消費増税の地域経済に与える影響も懸念材料である。このように地方自治体を取りまく環境は短期的にも長期的にも厳しいと言わなければならない。

福島県は、双葉郡など原発事故の直接被災地は別として、おおむね平常の状態に戻った。しかし県人口の減少率は比較的高めで、震災復興需要の反動にも対処しなければならず、地域振興の課題は従来にもまして大きい。一方西郷村は、首都圏からの絶妙ともいえる距離感も幸いし、県内自治体としては例外的に転入人口の増加が継続している。非常に変動のはげしい時代であるから、この好条件が続いているうちに地力を蓄えておくことが肝要だろう。いま実施されている「総合戦略」も、時代の大きな流れの中で位置づける必要がある。

昨年度に引き続き事業の評価を実施した。評価の方法は以前と同様で、まず総合戦略の進捗状況をすべての施策について数値で確認する作業を行い、次いで国庫支出金を使った3つの事業について個別の評価を行った。有識者会議委員の4段階評価および意見記述をそのまま掲げる方法も踏襲した。それぞれ前年度からの継続であるので、両年度の評価の比較対象も行うことができる。

総合戦略の全体的な進捗状況を見ると、平成29年度の実績ですでに目標を達成している項目がいくつかある。村内企業数、新規就農者数、転入者数などがそれであり、概して民間の経済指標が良好だ。半面で、待機児童数、観光客入込み数、移住定住相談者数、寿学級参加者数などは目標未達成である（待機児童は新保育所の設置により解消の見込み）。行政の努力のほどが問われる指標で、課題が多いように見受けられる。

さて個別評価対象の3事業であるが、「サイクルツーリズム推進事業」は、効果があった点は全員が認めているものの、昨年度と比べて評価はやや下がったといえる（A4, B7, C6→A5, B2, C10）。これは、前年度にはなかった外国人滞在指標と観光客宿泊者数がデータとして新たに加わり、それらの数値が芳しくなかったことが反映していると考えられる。3市町村の広域事業なので村単独の評価がむずかしいという意見は、前年度同様に数人の委員から出されている。

「産業サポート白河を核としたローカルイノベーション創造事業」のほうは、前年度と大体同じレベルの評価になっている。これも4市町村の広域連携事業なので村としての評価の困難な点が多く委員から指摘された。県南地域の製造品出荷額が第一の評価指標になっているが、これは経済全体の動向に影響されて変化するものなので自治体政策の評価に直結させるのはむしろ妥当でないだろう。

第3の「「まるごと西郷館」整備事業」では、前年度段階で建設途上であった産地直売所の完成にこぎつけた。その実績はほとんどの委員からA評価を得、今後の成長が大いに期待されている。注文や提案が多数記述されている点に留意してほしい。

3 事業ともはっきり否定的な評価はなく、おおむね実績を上げているとの見方では共通している。しかし2事業の評価については以前と同様ばらつきが目につき、評価の基準と視点の多様性が感じとれる。そのこと自体の意味を、当局者には考えてもらいたい。また総合戦略事業全体としては、広域の施策も大事だが、村独自の施策の展開とその効果の確認にも力を注いでもほしいものである。今後の事業展開を、期待しつつ注視していきたい。

令和元年7月1日

西郷村地方創生有識者会議

座長	清水	修二
委員	仁平	喜代治
"	鶴田	良二
"	桑名	義雄
"	石川	格子
"	森	明美
"	有賀	圭子
"	蓮見	直子
"	星	邦弘
"	鏝	貴志
"	畠山	史信
"	渡辺	司
"	古川	雄二
"	花安	紀夫
"	近藤	武男
"	遠藤	玉美
"	橋場	八代子
"	大越	則恵

○会議の開催経過

会 議	日時・場所	内 容
第 1 回会議	平成 31 年 2 月 7 日（木） 西郷村文化センター	委嘱状の交付、座長選出 西郷村まち・ひと・しごと創生総合戦略の 効果検証について 地方創生関連事業の効果検証について （7 事業：内 1 事業経過報告）

○評価対象とした事業

評価対象とした事業は、下記の交付金を活用した事業に対して行いました。事業名等については、別表「地方創生関連事業一覧」のとおりです。

○評価の区分

評価は、次に示す 4 区分によるものとし、意見や提言等を付すものとししました。また、現時点でどうしても評価が難しいものは評価不能とししました。

A：地方創生に非常に効果的であった

指標が目標値を上回った場合など。

B：地方創生に相当程度効果があった

目標値を相当程度（7 割）達成した場合など。

C：地方創生に効果があった

目標値を上回らなかったが、本事業開始前よりも改善したなどの場合。

D：地方創生に対して効果がなかった

実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合。

○評価の手順

手順 1 事務局・事業担当課による事業概要の説明及び質疑応答（第 1 回会議）

↓

手順 2 各委員の事業評価（12 月末～1 月末まで各委員で評価）

↓

手順 3 各委員の評価発表及び評価の取りまとめ（第 2 回会議）

地方創生関連事業一覧

番号	事業名	総合戦略における分類	交付金名称
1	サイクルツーリズム推進事業～観光・健康・復興に輪行で行こう～Part2	にしごうを‘愛し’生涯安心して幸せに暮らせる村をつくる	平成 29 年度 地方創生推進交付金事業
2	産業サポート白河を核としたローカルイノベーション創造事業	にしごうで‘働き’安心して生活できる村をつくる	平成 29 年度 地方創生推進交付金事業
3	「まるごと西郷館」整備事業	にしごうで‘働き’安心して生活できる村をつくる	平成 28 年度 地方創生拠点整備交付金事業

I サイクルツーリズム推進事業～観光・健康・復興に輪行で行こう～Part2

1. 事業概要

白河市、那須町、西郷村の広域連携事業として、サイクリストのための環境整備と観光業を中心とする第三次産業の市場規模の拡大を図るため、国内・国外に向けて情報発信や展示会への出展などプロモーション活動を実施しました。

2. K P I（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	目標	実績	達成率
観光客入込数	283,800 人増	318,494 人増	112%
白河駅（白河市）、新白河駅（西郷村）黒田原駅（那須町）乗降者数	100 人/日増	55 人/日増	55%
RESAS 外国人メッシュ分析のメッシュ数	3 箇所増	-6 箇所増	-200%
RESAS 観光客マップ宿泊者数	70,900 人増	-247,300 人増	-349%

3. 有識者からの評価

A 非常に効果的 であった	B 相当程度効果 があった	C 効果があった	D 効果がなかった	評価不能
5	2	10		

4. 有識者からの意見

○サイクルピットの設置はなかなか効果が分かりにくいです。海外や他県等への働きかけは、セールスその後のフォローがさらに必要かと思います。（石川委員 C）

○乗降者を増やす手段として何を行ったのか？

サイクルピット数が 2 箇所増えた事は利便性が良くなると思うが、18 箇所の利用者数と利用者は何の目的で立ち寄ったかを調査してはどうか？

ピットの案内チラシ及び道路への案内表示はされているか？

台湾トップセールスや観光 PR の実施は良いと思うが、効果の把握はどうされるか？

RESAS のマイナスの理由は？（桑名委員 C）

○観光客入込数は増えているので効果はあったと思う。西郷村としての数値が知りたかった。

（渡辺委員 C）

○目標値に対して実績値が達成されていない項目が多い。広域なので西郷村だけを考える事は

困難である。入込数が目標を越えているのでやり方や指標を変えると良いかもしれない。

(大越委員C)

○西郷村としての実績も分析してみると傾向と対策が検討しやすいのでは？

マップはわかり易い。HP等でもダウンロードできるようにしてもらえると当施設でもPRできる。このKPI以外にも実績としてわかるデータを集めておくことも必要かもしれない。

関東圏のサイクリストにこの情報が届く工夫があると良いのでは？(蓮見委員C)

○観光客入込数は目標を上回っており、一定の効果は見受けられるが他の項目について達成率が低い。西郷村単独での評価が難しい。(鏑委員C)

○平成29年12月22日委員として出席しましたが、事務局説明、委員の皆様からは難しい事が次々と出されお引き受けして大変だと後悔しました。しかし回を重ねる度にこれからの西郷村、近隣の市町村には大変な事業として真剣に取り組む気持ちになりました。今日まで中間報告書に目を通したり、今回検証調書を受け取り改めて目を通しました。この様に活字、数字が示されると感心するばかりです。目標・実績の数値がよくわかりますのでとてもよく更なる前進を望みます。(橋場委員A)

○サイクルピットの利用者数が分からないと事業効果が評価困難。台湾からの旅行者数の動向についても同様。観光客入込数が増加している反面、宿泊者数が減っているのは、日帰りや通過パターンが多いためと思われ、課題がうかがわれる。(清水座長C)

○今後もサイクルピットを増設し入込を図っていただきたい。(星委員B)

○サイクリストのための環境整備は観光客増加につながる良い取り組みであると考えます。一方でプロモーション活動に工夫が欲しい。サイクルピット18箇所をMAPにして駅やまるごと西郷館等で配布されては如何でしょうか。また、サイクリングロードの安全対策も重要と考えます。(鶴田委員C)

○観光客が増えたことについては目標を上回っているが、宿泊者数が大幅なマイナスである事と台湾トップセールスについても、③の実績でもマイナス広域の事業で観光客が増えていることから白河・那須に観光客が流れてしまっているように思える。(近藤委員C)

○広域連携事業としては、目標値の達成や改善が見られるが西郷村にとって効果があったかとなるとKPIで示された指標名と数値だけでは評価が難しいと感じた。(森委員C)

○那須町のPR、那須ブラーゼン等を参考にしてみたいはいかがでしょうか。(有賀委員B)

○増加傾向なので今後も取組みしてはどうでしょうか(継続)(畠山委員A)

○西郷村単独では、集客はむずかしいのですね。それにサイクル自転車で村内を見て歩く場所がないのでは？ 3地区行政と手を組んで増加は良しと考えました。(遠藤委員A)

【今後の方向性】

本事業は、サイクルツーリズムの推進をとおして国内外に向けたプロモーション活動や環境整備を行ない、交流人口の増加や観光業を中心とする第3次産業の市場拡大を図ることを目的に、「西郷村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標“にしごうを愛し生涯安心して幸せに暮らせる村をつくる”に関連する事業として実施いたしました。

3市町村の共同事業により、従来の県域ごとの事業展開からの脱却を試みました。本年度は、観光客入込数の増加が期間内にみられ、宿泊数が減少しているため滞在型の観光へ結びつきが薄く、また、外国人メッシュ分析から外国人の滞在が減少してしまいました。

今後も、継続的に地域内外に向けてイベント等を活用してPR活動などで周知や3市町村協働の協議会を立上げて事業の検討を行っていきます。

Ⅱ 産業サポート白河を核としたローカルイノベーション創造事業

1. 事業概要

白河市、矢吹町、泉崎村、西郷村の広域連携事業で、一般社団法人産業サポート白河が行う新規事業促進支援や経営高度化支援などの事業に対して支援を行いました。

2. KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	目標	実績	達成率
県南地域の製造品出荷額	137 億円増	-474 億円増	-346%
県南地域の就業者数	352 人増	769 人増	218%
海外企業との商談件数	2 件増	15 件増	750%

3. 有識者からの評価

A 非常に効果的 であった	B 相当程度効果 があった	C 効果があった	D 効果がなかった	評価不能
6	6	5		

4. 有識者からの意見

○当社も参加している内容がありましたので、他活動とリンクするものがあり、効果を少しずつ感じています。継続的に行うことで、さらに効果があるのではないかと考えます。純粋に西郷村の数字が分かると良い。（石川委員B）

○広域活動としては効果が表れているが、西郷村としての参画利用者（社）がよく見えない。西郷村として企業学校へのアナウンスはどの様にするのか、しているのかよく見えない。（桑名委員B）

○効果はあるようだが、もっと取り組みのアピールが必要。西郷村としての数値が知りたかった。（渡辺委員C）

○出荷額が目標に達していないことは経済効果がなかったといえるのでは？
ただ、就業者数、商談件数が増えているということは今後にも多少期待ができるかもしれない。西郷村にとっても可能性があるかも知れない。（大越委員C）

○西郷村のデータがないと判断が難しい。出展した後の動き効果につながりそうな現象をとらえておく。（蓮見委員C）

○海外との商談件数、就業者の増加率を見ても効果が出ている。西郷村単独での評価が難しい。

(鏑委員B)

○昨今は新規事業の促進は大変難しい社会である。しかし市町村連携、県南地域と広範囲とお互いに支援、経営高度化支援等はとても良い考えであり、県南地区の発展を望みます。

(橋場委員A)

○事業主体（一般社団法人）としての活動は多方面に亘り、よくやっている印象。しかし当該補助金を使った個別事業の内容と効果が確認できないのは遺憾。(清水座長B)

○各種事業を積極的に行っており、評価できる。効果についても今後出てくるものも有り、継続活動をお願いします。(星委員A)

○就業者数の増加、海外企業との商談件数は目標達成で取り組みの成果が出ている。県南地域の就業者数が増えている理由を分析できると次なる施策の検討につながると思います。

(鶴田委員B)

○海外企業との商談件数が15件と目標より多いがその結果としてどれだけの成果が出たのかが分からない。(近藤委員C)

○広域連携事業としては、目標値の達成や改善が見られるが西郷村にとって効果があったかとなるとKPIで示された指標名と数値だけでは評価が難しいと感じた。(森委員C)

○今後とも増加し続ける様期待したい。(有賀委員A)

○今後も継続を要望します。(内容のブラッシュアップをお願いします。)(畠山委員B)

○評価はむずかしいですけど、増なので優としました。(遠藤委員A)

【今後の方向性】

本事業は、地域資源や地域産業の強みを活かした「ものづくりの高度化」や「海外展開」など、競争力強化に繋がる各種事業や実施体制整備について、産業サポート白河による支援を強化するもので、「西郷村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標“にしごうで働き安心して生活できる村をつくる”に関連する事業として実施いたしました。

企業コーディネーターがより多種多様な企業間連携に取組み地域間競争力を強化できると期待して4市町村で広域的に取り組みました。本年度は、県南地域の製造品出荷額が減少しましたが、就業者数や海外企業との商談件数に大幅な伸びがありました。

今後も、各市町村が連携したな事業支援を継続することにより、産業サポート白河の事業推進を図ってまいります。

Ⅲ 「まるごと西郷館」整備事業

1. 事業概要

今後迫りくる人口減少社会へ対応していくため、「生涯安心して暮らせる小さな拠点づくり」計画を平成 28 年度策定し、この拠点内に「まるごと西郷館」を「にぎわい元気を創出する拠点」として位置づけ整備しました。

○まるごと西郷館：木造平屋建て 348 m²（整備面積：A=7,469.5 m²）

主な機能：物産スペース、軽食コーナー、保管庫、厨房、事務所、トイレ

2. K P I（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	目標	実績	達成率
農業公社売上金	110,000 千円	160,000 千円	145%
「まるごと西郷館」の雇用者数	3 人	13 人	433%
直売所出荷事業者数	10 人	200 人	2,000%

3. 有識者からの評価

A 非常に効果的 であった	B 相当程度効果 があった	C 効果があった	D 効果がなかった	評価不能
14	3			

4. 有識者からの意見

○他県から来た人（観光シーズン・帰省時期）の為に、オープン時間や営業日の調整は必要かと…。お正月の期間は特に残念でした。西郷村のモノだけでないのは、協力している感じが嬉しい。（石川委員 A）

○まるごと西郷館の雇用者数の目標が平成 32 年 3 月で 10 人となっており、実施が 13 人と目標をクリアした。ただし、この雇用者数は売上・利益の関係もあると思います。適正雇用者数と判断されているのか、今後も状況を見て増員するのかよく見えない。（桑名委員 A）

○まるごと西郷館を軸とした道の駅構想が動いている。完成まで好調さを維持していく方策を決めるのが急務。（渡辺委員 A）

○実績が目標を上回った。このまま商品種類数を増やして良い循環を作り上げることが望ましい。（大越委員 A）

○新鮮な野菜も充実している。マルシェなど新たなイベントにもチャレンジして認知度は上が

っていると感じる。2年後には道の駅に。トイレの少なさが課題→今後設置予定。

(蓮見委員A)

○昨年オープンし西郷村中心地に活気が出てきた。売上も目標を達成しており、近隣に新たに
出店する店舗も出てきており、今後、相乗効果も十分期待できる。(鏝委員A)

○実績が上がり喜ばしいことです。観光バスが多いようですが、外にトイレがないのが残念で
す。レジ係の私語が気になります。客が並んでいるにもかかわらず…。品物の陳列の工夫を。

(橋場委員B)

○13人の雇用を生んでいるのは成功といえる。直売所出荷事業者数が200人と、目標を2倍達
成しているのも注目すべき大きな成果。(清水座長A)

○3項目全てで最終目標値を上回り、効果も見られており村にとっても貢献大と思われます。
今後は、オフシーズン(冬期)の対応を皆で知恵を出してさらに大きな拠点となっていただ
きたい。(星委員A)

○地元住民の憩いの場、また観光客の立ち寄りスポットとして更に整備が進むことを期待して
おります。南会津・那須方面からのツーリストの休憩スポットとして「足湯」の設置等検討
してもおもしろいのではないかと。(鶴田委員A)

○公社の売上、雇用数、出荷者数を見ても目標より大幅に増加していることから西郷村の新た
な拠点として成功したと思う。これからのソフト面での支援が大切で入館者数を増やす事業
(イベント)が必要ではないかと思えます。(近藤委員A)

○目標を上回る実績を上げ、相当程度効果があったと感じるが村の特産品の充実と利用者の定
着については引き続き取り組んでいく必要があると感じた。(森委員B)

○更に多くの良い商品を置いて発信していく為、期間限定コーナーを設けて商品の流れを見て
売上の高い商品は常時置く等要検討。(有賀委員B)

○今後、更なる拡大に期待します。(畠山委員A)

○いつも利用させて頂いています。地元だけではなく関東圏からも来ている様です。焼き芋は
気に入っていますが、何かこれぞ西郷村の物おみやげとして喜ばれる特産品があればいいの
ですが、なにかないでしょうか？ ニシゴージュのメモだけでなく、他のグッズがあればうれ
しいです。(遠藤委員A)

【今後の方向性】

本事業は、「生涯安心して暮らせる小さな拠点づくり計画」における「にぎわい元気を創出する
拠点」として位置づけられた施設として整備し、「西郷村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基
本目標“にしごうで働き安心して生活できる村をつくる”に関連する事業として実施いたしまし
た。

まると西郷館の整備及び運営により、KPIは目標値を大きく上回って達成しました。今後
は、本施設を活用した道の駅計画や役場周辺の拠点整備などの事業へ転換してまいります。